

ガルーダ・サポーターズのしおり

2009.12 末

「ガルーダ・サポーターズ」って何？

「ガルーダ・サポーターズ」とは、**市民ボランティア団体**です。2009年1月25日に準備会が発足し、同年6月14日に正式に設立しました。まだ、できたてのほやほやです。

「ガルーダ・サポーターズ」の目的は？

「EPA協定に基づきインドネシアから来日する介護福祉士及び看護師候補者等が「日本に来て良かった」と思え、受け入れ機関が「受け入れてよかった」と思えるように、より良き生活をおくれる環境を整備するとともに、日本とアジアの医療・介護の質を向上させ、もって人々の福祉を増進するため、候補者等への支援など必要な活動に取り組むことを目的とする」（規約より）

「ガルーダ・サポーターズ」はどのようなことをやっているの？

- (1) 候補者等及び受け入れ介護施設・病院への支援
 - (2) 社会への啓発及び政策提言
 - (3) その他目的の達成に必要な活動
- 具体的な事業内容は、次のページ参照 —

「ガルーダ・サポーターズ」の会員はどういう人？

現在、会員は210名。インドネシアで勤務の経験のある市民、日本語教育者、医療関係者（医師・看護師他）、福祉・介護関係者（施設職員・介護職他）、研究者、学生、受け入れ機関など。役員は、共同代表6名と運営委員13名、監事2名です。

「ガルーダ・サポーターズ」運営の資金は？

会員の会費（一口2,000円）とカンパ、それにイベント収入などです。研究委託などの申請を行っていく予定ですが、会員のボランティアでの活動で成り立っています。

事務局は？

ガルーダ・サポーターズ事務局

120-0022 東京都足立区柳原 1-9-13 TEL03-5284-3706 FAX03-5284-3707

email:info@garuda-net.jp <http://garuda-net.jp>

2009年度 事業計画

2008 年来日した 208 名の候補者と、2009 年に来日する候補者、およびその受け入れ介護施設・病院を対象として、以下のような事業を行う。

1. SOS 相談コール対応

- ・毎日夜 21 時まで専用携帯電話 1 台で対応。インドネシア人の方がインドネシア語で相談に応じる。
- ・必要があれば、現地に出向いて相談に応じる。

2. 日本語学習支援

- ・他団体の支援・事業も考慮しつつ、プロジェクト（班）で支援方法を検討し実施する。
- ・eラーニングなどの方法も検討する。

3. 『ガルーダ・ネットワーク会員の集い』支援

- ・関東と関西で、今年度 1 回ずつ開催に向けて支援する。

4. パソコン・携帯電話提供の可能性の模索

- ・日本語学習、情報交換などのために必須であるパソコン・携帯電話提供の可能性を模索する。
- ・2008 年候補者も、2009 年候補者にも広報する。

5. 受け入れ介護施設・病院との連携を密にし、支援を行う

- ・受け入れ介護施設・病院と候補者との情報交換を密にして、必要な支援・できる支援を個別に実施する。

6. ホリデイ・ホームステイ事業検討

- ・受け入れ介護施設・病院の協力を得ながら少しずつ実施する。

7. ニュース発行・ホームページ

- ・年間 6 回程度の「ガルーダ・ネットワークニュース」発行
- ・年間 6 回程度の「ガルーダ・サポーターズニュース」発行
- ・随時ホームページの更新

8. その他

- ・適時、問題点・改善案・要望事項などを諸機関に提言・発信していく。

2009 年末までに実施してきたこと

1. SOS 相談コール対応

コール内容はおおむね3つ。①インドネシア語で話をしたい、②ちょっとした相談（買い物・週間他）、③大きな悩み（疑問などを職場の人にどういう言葉で質問すればいいかわからない）3月・4月は多かったが、その後は月に5件程度。

2. 『来日候補者の集い』の場作り

- ◆6・14 東京 『設立の集い』200名（内、来日候補者40名）
- ◆11・28 大阪『集い in OSAKA』150名（内、来日候補者19名）

3. 日本語学習支援

- ①日本語学習の状況調査を行い、現在のインドネシア人 EPA 看護師・介護福祉士受入れの日本語学習及び国家試験にむけた学習の問題点、改善点について報告を行い、併せて支援の方法を検討。
- ②①についての議論を行い、就労・研修を含めた基本的な枠組みを検討。
- ③受け入れ機関への教材等の提供

4. 『国家試験対策合宿講習会』 看護師候補者向けに、東京で実施。

2009 年年末に、2泊3日で実施。宿泊は、会員宅へのホームステイ。

5. パソコン・携帯電話提供の可能性の模索

2010 年年始より無料でパソコン本体とインターネット環境の整備をする企業を紹介する予定。

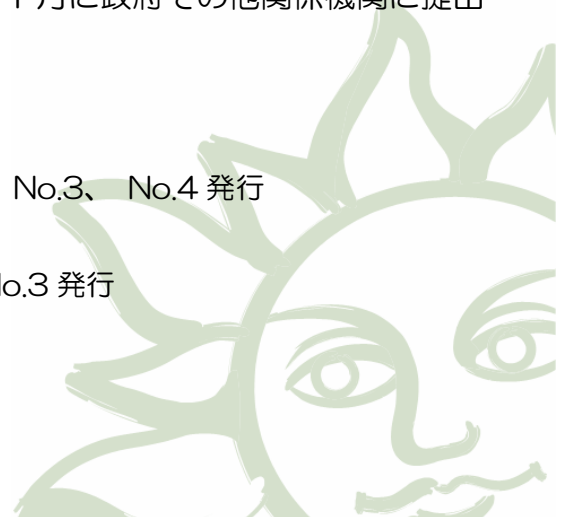
6. 制度改善・見直しについて『提言』作成

候補者・受け入れ機関のアンケートを2度実施。実情把握に取り組み、その中から『日本・インドネシア経済連携協定に基づくインドネシア人看護師及び介護福祉士候補者の受入条件の改善に関する提言書』を作成し、2010年1月に政府その他関係機関に提出し発表する予定。

7. ニュース発行・ホームページ

- ・「ガルダ・サポーターズニュース」No.1、No.2、No.3、No.4 発行（会員、受け入れ病院・施設、その他関係者）
- ・「ガルダ・ネットワークニュース」No.1、No.2、No.3 発行（候補者向けインドネシア語）
- ・随時ホームページの更新

8. その他



2009年度 役員

(50音順)

共同代表

1	益 加代子	神戸市看護大学助教
2	スジャラルオ	埼玉・大和田病院医師
3	富永さとる	パブリック・ベネフィット研究所代表/全国公益法人協会・NPO サポートセンター客員 研究員
4	中村大蔵	阪神共同福社会園田苑施設長
5	本多敏子	日本国際協力センター日本語講師
6	宮崎和加子	健和会・看護介護政策研究所所長 当団体事務局長

運営委員

1	尾崎純郎	メディカ出版
2	桂木誠志	(財)日本医療労働会館専務理事
3	清沢聖子	東京介護福祉労働組合書記長
4	日下修一	獨協医科大学看護学部准教授
5	白仁田敏史	長崎・宅老所グループホームあんのん代表
6	武井幸穂	特定医療法人健和会副理事長
7	丹 マウラニ	通訳・翻訳
8	土井義昭	行政書士トキ福祉法務事務所代表
9	ニヤマン	とりで医院所長
10	丹羽未紀子	NPO 法人 ICA 文化事業協会
11	林 亨	メディカ出版
12	松野明久	日本インドネシア NGO ネットワーク代表/大阪大学教授
13	宮澤美代子	東京・永生病院 法人本部相談役

監事

1	館石宗隆	札幌保健所所長・医師
2	加治屋聡恵	インドネシア語通訳・翻訳

